

ワクチン接種時の受診前の注意事項

ワクチン接種時(特にインフルエンザワクチン)を接種される場合には、ご来院される前に、事前に必ずお子さんのご理解・ご協力を得た状態で、ご受診下さいますようお願い致します。



毎年、『注射は打たない』とお子さんをだまして来院されたり、嫌がるのを無理やり連れてご来院され、クリニック内で他の患者様にご迷惑をおかけすることがありますので、ご配慮下さい。

ただし、発達障害等で制止が難しい方は、その限りではありませんので、安心してご来院下さい。

お子さんのご理解を得るために

お子さんの年齢に合わせて、注射の必要性が理解できるような言葉で説明してあげましょう。



☺『病気でお熱が出たり、しんどくならないように、ちょっとだけチクツとするけど、お注射をがんばろうね。』

☺『〇〇ちゃんが病気になったら、ママはとっても悲しいよ。毎日元気いっぱい遊べるように、お注射してもらおうね。』

嘘をついて病院へ連れて行かれたり、注射で痛い想いをすると、病院が嫌いになるだけでなく、親子の信頼関係が崩れたり、“嘘をついてもいいんだ”と間違ったメッセージを伝えてしまいます。お子さんは、大人が思っている以上に理解する力を持っています。《注射を打つこと》を嫌な思い出にせず、接種をきっかけに親子の絆を深めて頂ければと思います。

ご家族とお子さんの笑顔のために…
ご理解、ご協力の程、宜しくお願い致します。